

Q9 多職種カンファレンスの感染対策は行っていますか？また、多職種カンファレンスの代わりとなる有効な情報共有方法はあるのか？

Answer

会議において、風通しの悪い空間を作らないこと、人と人との会話や発声時には2メートル以上の間隔をあけること、人が集まる空間をできる限り回避することが飛沫・接触感染防止につながるとされています。院内の多職種カンファレンスにおいても同様の対策を行う必要があると考えられます。

密閉、密接、密集とならないよう、テレビやタブレットの使用、電話、電子メール、他方法での代用が可能なか検討し、取り組んでいただくことが推奨されます。

参考資料

- ・ 緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業で働く方々等の感染予防、健康管理の強化について（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000622716.pdf>